お知らせ



| 課名 | 岡山県美作県民局 |
|------|----------------|
| M 11 | 農林水産事業部農畜産物生産課 |
| 担当 | 北村·田外 |
| 内線 | 321 · 322 |
| 直通 | 0868-23-1305 |

令和7年度(第58回)岡山県農林漁業功労者表彰の 受賞者が決定しました!

県では、本県農林漁業の振興のために献身的な活動を続け、その功績が 特に顕著で優秀と認められる個人又は団体を表彰する「岡山県農林漁業功 労者表彰」について、今年度の受賞者を次のとおり決定しましたので、お 知らせします。

本件は、県政記者クラブにおいても本日発表しています。

受賞者 別紙のとおり (美作県民局管内分抜粋) 1

(参考) 表彰状況

| 部 門 | 表彰 | 区 分 |
|-----------|---------|----------|
| □ H I 1 | 知 事 表 彰 | 農林水産部長表彰 |
| 農 産 部 門 | 9 (2) | 13 (5) |
| 畜 産 部 門 | 1 (1) | 3 (1) |
| 土地改良部門 | 1 | 3 (1) |
| 林 業 部 門 | - | - |
| 水 産 業 部 門 | - | - |
| 団体指導者部門 | 1 (1) | 1 (1) |
| 農山漁村活性化部門 | - | 1 |
| 計 | 12 (4) | 21 (8) |

() は美作県民局管内の受賞者数

2 表彰式

日時 令和7年12月24日(水)10:00~11:00

場所 県庁3階 大会議室

(岡山市北区内山下2-4-6)

岡山県農林漁業功労者表彰受賞者一覧(知事表彰) (美作県民局管内分抜粋)

| 部門 | 氏名(年齢) | 職業 | 主な公職歴 受賞歴 |
|--------|---|----------------------------------|--|
| Hh 1 | 住所 | - 本 | エ な ム 槭 座 又 貝 座 |
| 農産部門 | かとう キみひと 井藤 文仁 (66歳) 真庭市 | 農業 | 平成22年~27年 蒜山ミニトマト部会協議会 会長 平成28年~現在 蒜山大根部会協議会 会長 令和6年~現在 蒜山地域園芸振興協議会 会長 |
| | 夏だいこんの。 夏がいこの 宮のミニマな生産和の また。 こまた。 こまた。 こまが、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には | 補し新に年記規育い規育がは一年正規が成ら積極に | 、ミニトマトの複合経営に取り組んでいる。 として導入したミニトマトの産地発展と野菜複合経 も地域目標を上回る所得を確保している。 者に対し、技術面や生活面の助言・指導により部会 るなど、担い手の育成に貢献している。 読山地域園芸振興協議会の会長に就任し、ミニトマ 的に協力するなど、園芸品目の安定生産と地域農業 極めて大きく、県民の模範である。 |
| 農産部門 | を 佐藤 珠貴 (65歳) 勝央町 | 農業 | 平成23年~令和4年 勝央町農業委員 平成27年~現在 岡山県農業士 令和2年~現在 勝央町ぶどう部会 副部会長 |
| | ぶる 取 を を の に な の に な の に な の に な の に な の に な に た な に に に に に に に に に に に に に | 部 ウ地イ蔵研新会 ス域ン方修規長 をのマ法や就と 拡模スを実農 | 取り組んでいる。自らも高品質生産を実現しつつ、して、部会員の栽培技術の高位平準化に貢献していてして所得を向上させるなど、生産振興に積極的に延むとなっている。 一、カット」の冷蔵出荷に率先して取り組んでおり、現で研究するなど、部会員の所得向上に尽力している。 一、務研修の受入農家となり、令和3年以降に受け入れる。 一、持ちなど、担い手の確保・育成に貢献しており、地の積は極めて大きく、県民の模範である。 |

岡山県農林漁業功労者表彰受賞者一覧(知事表彰) (美作県民局管内分抜粋)

| 部門 | 氏 名 (年 齢) 住 所 | 職業 | 主 な 公 職 歴 受 賞 歴 |
|-------------|---|-----------------------------------|---|
| 畜産部門 | でのき 彩 檜尾 康知 (59歳) 勝央町 | 農業(酪農) | |
| | 料の積極利用によ 長させた経営手腕 また、おかやま や関連団体への要 に、酪農業の理解 | る生産コ は県業協 請話 醸成に向 | 別組み、先端技術の導入による労働作業の軽減、県産飼 コスト削減など、乳質、収益ともに地域有数の農場へ成 協農家の模範となっている。 協同組合の代表理事組合長として、組織体制のスリム化 など、農家の立場に立った組合運営に尽力するととも 向けた情報発信を積極的に進めるなど、岡山の酪農業を 大きく、県民の模範である。 |
| 団体指導 者部門 | が成 美博 小椋 美博 (67歳) 鏡野町 | 団体役員 | 平成28年~現在 作州かがみの森林組合 代表理事組合長 平成30年~令和4年 岡山県森林組合連合会 監事 令和4年~現在 岡山県森林組合連合会 理事 |
| | 極的に制立と組む、、15年間を維持和連邦を維持和連邦を経済を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を表した。 は、 15年間 15年間 15年間 15年間 15年間 15年間 15年間 15年間 | と織合度のを年ても・員にサ実度おりに経へ鏡テ践かり、営の野ラしら、 | の代表理事組合長に就任以来、補助事業や請負事業に積 森林資源データ等最新技術を活用し、効率的な林業経 営基盤の強化と健全な組合運営に取り組み、安定した黒 り経済的地位の向上に努めている。 野町が整備した「鏡野町貯木場」の運営を受託し、岡山 ライト共販や合板会社への直接販売を併用し、材質に合 している。 らは鏡野町と連携し、森林由来のJークレジット創出に 地域の自然・森林を永続的に維持し、森林の公益的機 ご、その功績は極めて大きく、県民の模範である。 |

| 部門 | 氏 名 (年 齢) 住 所 | 職業 | 主 な 公 職 歴 受 賞 歴 |
|------|---|-------------------------------------|---|
| 農産部門 | 稲岡 郷三 (55歳) 美咲町 | 農業 | 令和4年~現在 就農アドバイザー 令和6年~現在 JA晴れの国岡山中央ぶどう部会 部会長 令和7年~現在 JA晴れの国岡山つやま ブドウ部会連絡協議会 会長 |
| | スを組み合わせ、高所令和2年、以降、であるく、就のでは、、令和7年のでは、、令和7年のでは、、令和7年のでは、、令和7年のでは、、令和7年のでは、、令のでは、、ののでは、ののでは、、ののでは、ののでは、ののでは、、ののでは、、ののでは、、ののでは、、ののでは | たて 6定年壬大お部年地度す規り会かのにる | 取り組んでいる。簡易被覆栽培と加温、無加温ハウ経営と、共進会でも高い評価を受ける技術力により地域の経営モデルとなっている。 リーダーとして新規就農者からの相談に積極的に応は部会長として実務研修生を受け入れ、技術面だけ保や人脈づくりも支援している。 立されたJA晴れの国岡山つやまブドウ部会連絡協、地域農業の振興、産地の維持・拡大に尽力した功の模範である。 |
| 農産部門 | が原 恒亮 (51歳) 鏡野町 | 農業 | 平成24年~25年 鏡野町農業後継者クラブ泉会 会長 令和元年~4年 JA晴れの国岡山青壮年部津山支部 支部長 令和3年~現在 岡山県農業士 |
| | 期携 機対し 秤タルは 10人は 15人は 15人は 15人は 15人は 15人は 15人は 15人は 15 | で、環マ権手取策従い施境ト立か組に業る設のでとらは選員。を最は省津、ば | 取り組んでいる。県内トップクラスの栽培面積で長を周年雇用しているほか、外国人材の受入や農福連改修して換気効率の改善を図るとともに、環境制御適化や省力化を実現している。平成30年からは活用しており、環境に取り組んでおり、環境に取り組んでおる。 一山工業高等専門学校などと共同で「トマト自動集が合和4年度全国知事会先進政策バンクにおいて地域がより、地域が大きく、県民の模範である。 |

| 部門 | 氏 名 (年 齢) 住 | 職業 | 主 な 公 職 歴 受 賞 歴 |
|------|--|---|--|
| 農産部門 | 佐子 ゆかり (61歳) 真庭市 | 農業 | 平成25年~現在 岡山県農業士 令和2年~3年 JA晴れの国岡山蒜山花卉部会 副部会長 令和2年~現在 真庭市農地利用最適化推進委員 |
| | 種ほ分ど内適のか散そ、平に化り、をの真成立地でで、平に化りい地年上委の主任生産の主任生産のがある。 | 『成也寄全』とこれでは「ない」では域を体女ほしていた。 でいい かい か | 野菜の複合経営に取り組んでいる。県オリジナル品 レースフラワーなどの新品種を積極的に導入する た新技術を導入し、多品目栽培でリスク分散、労力 の新庄を導入して多ましている。 の新庄では対しても情報発信や技術指導するない。 変産地の生産振興に寄与している。 と者の技術習得や経営参画を目的とした勉強会を部分 を著成25年からは県農業士、令和2年からは農地利イス の機・で表になる。 は大きになる。 は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、 |
| 農産部門 | 西村 良一 (67歳) 真庭市 | 農業 | 平成17年~21年 就農アドバイザー 平成21年~現在 岡山県農業士 |
| | 水個担い栽ぺどされ個担い栽ぺどさいででしょうによったったいででいる。 いる かい かい かい かい かい あい かい あい 真 かい かい 真 かい あい 真 かい かい しゅう いい かい しゅう かい かい しゅう いい かい しゅう いい かい しゅう いい かい | 成営 ろくい 医食の農 地。ラつ市者 営組 域環ー省がの 力進相 | 是託、いちご等の複合経営に取り組んでいる。 組合の役員として、設備投資と規模拡大を進め、近隣 いらも作業を受託するなど、地域において重要な役割 に駆けて高設栽培を導入し、令和2年からは「晴苺」 制御装置を導入し高品質生産を実現しているほか、 は高いである。 かる、大谷本系を確立して、、大谷本系をである。 かる循環型農業に率先して取り組むほか、県農業士と を役となるなど、地域農業の振興に尽力した功績は極 である。 |

| 部門 | 氏名(年齢) | 職業 | 主な | 公 職 | 歴 | 受 | 賞 | No. 3 歴 |
|------|--|--|--|--------------------------------------|---|---|--------------------------|--------------------------|
| 農産部門 | 住 所 水田 周二 (67歳) 勝央町 | 農業 | 平成28年~ JA第年~ 州和就元 令和元農で 令和 1 A 晴れ | 現在 の国岡山勝 勝央支部 副 3年 バイザー | 英作 削部会長 英に | <u> </u> | 具 | 在 |
| | マール は 大水、導会いは管黒の 大水、導会いは管黒の 大のまを、 大のまを、 大のまを、 大のまを、 大のまを、 大のまを、 大のまを、 大のまを、 大のまを、 | 収しお 県こ豆かで、い 全よ産、高令て 域り地令温和は で安を和 | 耐 7 、 不定支元 作しえ年 にる がたるか がたるか に長 く量めは りょう いんしん かいんしん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かい | 5 | き J 畏 り お 者 専 ら A 家 等 り を 用 め 晴 へ の 、 対 品 | きれ多 基地象重 を国技 技のし種 大人の 大人の 大人の 大人の 大人の 大人の しん かん | 和山を の範栽生6勝普 徹と培産年英及 底な講も | にす やっ習担じる かて会っの役 んいでて |
| 畜産部門 | かりや かずひろ 狩谷 和宏 (54歳) 真庭市 | 家 | 真庭支部 平成28年~ | 畜人工授精 支部長 | | 功労者 平成29年 | 家畜人 表彰 : : | 工授精工授精功 |
| | < 対象をと果う し広る がまな とり は で で で で で で で で で で で で で で で で で で | うなど生 って人工 どる だとる からは からは他 | 三産性向上に対 う。 受精師協会員と さ心を持って自 1県の人工授料 | てきく貢献し こして、家畜 目己研鑽に努 青師協会長と | 、地域 所人る が も交流 | の畜産農 精優良技 勢は他の を深める | 家にと 術発表 会員の など、 | って欠 全国大 見本と 活躍の |

| 部門 | 氏 名 (年 齢) 住 所 | 職業 | 主 な 公 職 歴 受 賞 歴 |
|---------|--|------------------------------|--|
| 土地改良部門 | 福田 修一 (70歳) 津山市 | 農業 | 平成21年~令和3年 近平用水土地改良区 理事 令和3年~令和7年 近平用水土地改良区 理事長 |
| | 改良施設の適正な また、土地改り 流入防止対策や補 | 管理に尽 と区が管 がなど、 とする水 | 理する水路は急峻な山腹に設置されており、土砂の 、維持管理に多大な労力を費やしていることから、 路整備事業を実施し、農業経営の安定に寄与した功績 |
| 団体指導者部門 | ************************************* | 団体 役員 | 平成28年~令和元年 久米郡森林組合 参事 令和元年~現在 久米郡森林組合 代表理 事組合長 |
| | 組合長に就任、その森整備公社等が 位の向上に努みで また、積極的など、 さらに、美戦町 | のらき者業と森 経のたに員連林・か負 し保し林 | の職員として手腕を発揮するとともに、令和元年に森林いら得た知見を生かしながら、造林補助事業、おかやま食事業に積極的に取り組み、組合員の社会的、経済的地では、組合長自ら面談、住居等生活面をサポートする民に尽力している。して、1日林業体験会、フォレストスクールなどを開催大業への理解促進に尽力するなど、その功績は極めて大 |